

## 平成 30 年度 看護実践統合演習（領域別実習からの学び）実施要領

### 1. 授業科目 配当時間

看護実践統合演習：30 時間中 4 時間

### 2. 学習目的

臨地実習での学びを振り返り看護観を築くとともに、新たな探求分野への課題意識につなげる。

### 3. 学習目標

- 1) 個人の臨地実習での学びを明確にできる。
- 2) 臨地実習の学びを通して新たな問題意識や関心を明確にできる。
- 3) グループ討議を通して、1)・2) を共有することができる。
- 4) 報告会に参加することを通して、学びを深めることができる。

### 4. 方法

- 1) 実習グループごとに学習目標に沿って、グループワークを進める。
- 2) グループワークの過程をパワーポイントに示す。
- 3) 積極的に報告会へ参加する。

報告会はブロックごとに行う。

午前の部 集合：9 時 30 分 開始：9 時 40 分

午後の部 集合：13 時 30 分 開始：13 時 40 分

1～5G→A ブロック

6～10G→B ブロック

11～15G→C ブロック

16～21G→D ブロック

各ブロックごとに座長とタイムキーパーを決めて、座長が全体の進行を行い、報告会を進める。

1 グループの発表時間は 20 分とし原則としてパワーポイントを使用し、グループごとに工夫した発表をする。5 グループの発表終了後、10 分間の質疑応答の時間を設ける。

学生が主体となり、班ごとに協力し円滑かつ有意義な報告会とする（学生間のディスカッションで、学びを深める）。

<当日の流れ>

準備から片付けまで学生主体で運営する。各ブロックで会場設営を行い、時間どおり進行する。報告会終了後、会場は原状復帰する。

<資料の作成>

各グループは発表用のパワーポイントを作成し、データで事務局に提出する。パワーポイントの 1 枚目は、以下の様に体裁を整える。報告会の日時と場所は後日、連絡する。

平成 29 年度看護実践統合演習

— サブタイトル —

7G

○○花子  
山川○○太  
△△雪子  
花畑□□  
○○次郎